

平成19年度 施策評価表

所属 21800000

都市整備部 公園整備課

施策	1240 水辺					
区分						
対象	対象：区民、河川、緑、公園対象数：人口 439,942人（平成18年4月1日現在）					
施策意図	河川を活かした快適な空間が整備され、多くの区民が水辺に親しんでいる。					
現状と課題	計画化された水の拠点整備は平成20年でほぼ完了する予定である。しかし、拠点を結ぶアクセス基盤が脆弱なため、今後は、水辺のネットワーク事業基本構想に基づく整備を進めると共に計画が具体化していない水の拠点についても実現化を図って行く。また、課題であった水元小合溜の水質改善策は国との協議が整い取水施設工事を行っている。					
成果指標	1：水の拠点整備面積（水の拠点整備を行った面積の累計） 2：水辺が親しめる空間となっていると思う区民の割合（マーケティング調査） 3：水辺の散策路整備延長（桜づつみ整備延長を含む累計）					
目標達成状況			平成17年度	平成18年度	平成19年度	
	成果指標1 [ha]	予定	18.10	18.30	18.50	
		実績	18.10	23.10		
	成果指標2 [%]	予定	42.20	42.50	42.80	
		実績	38.60	43.20		
	成果指標3 [m]	予定	0.00	630.00	1,260.00	
		実績	260.00	550.00		
	トータルコスト (千円)	予定		624,244	730,231	
		実績	740,137	431,251		
	施策の位置付け	区の関与度合	区中心。事業地の多くは国や都が管理する河川区域内にあり、民間事業者では施設の設置は難しく、区が関与する度合いは大きい。			
区民ニーズへの貢献		非常に大きい。本区の特徴である水辺空間には自然環境の保全と共に災害時における避難場所の拡充といった要望が高く、これに応えている。				
成果向上の必要性		向上必要。本施策には、河川を軸に市街地と水辺のネットワークを形成することにより、環境面はもとより都市景観や防災機能の観点からも成果の向上が求められている。				
成果向上の容易性		容易ではない。事業実施には河川区域という特殊性から国や都との協議に時間を要し、今後の事業を展開するためにはまとまった用地の確保が必要となるが厳しい状況にある。				
位置付け総合評価	拡充。本施策は、区民ニーズも高く、多くの区民に憩いやレクリエーションの場を提供し、かつ、都市環境や防災性の観点からも必要な役割を担っており、区民の良好な生活環境を確保していくため拡充すべき施策である。					
施策目的達成のための事務事業	事業コード	名 称			トータルコスト(千円)	総合評価
	124001	(仮称)中川河岸緑地公園整備			58,220	5
	124005	維持管理(水元小合溜水質浄化施設)			133,297	5
	124006	水辺のふれあいルーム運営			19,084	5
	124007	水辺のネットワーク事業基本構想策定委託(桜づつみ復活事業)			4,000	3
	124002	堀切水辺公園整備(水の拠点整備)(廃止)			48,720	0
	124003	(仮称)西水元公園整備(水の拠点整備)(廃止)			157,950	0
	124004	駐車広場管理運営委託(柴又公園駐車場)			9,980	0

【総合評価】6=拡充/5=継続/4=改善/3=再構築/2=縮小/1=廃止・休止/0=今回評価なし

コスト分析表

年 度 平成19年度

所 属 21800000

施 策 1240

都市整備部 公園整備課

水辺

期 間 平成17年度 ~ 平成19年度

(単位：千円)

		NO	平成17年度	平成18年度	平成19年度			
予 定	財源内訳	国庫支出金	(1)		30,000	0		
		都道府県支出金	(2)		51,620	61,446		
		地方債	(3)		0	0		
		その他	(4)		58,388	30,219		
		一般財源	(5)		466,946	625,244		
	直接費	事業費	(6)		531,975	679,989		
	職員人件費	人件費	(7)		69,579	34,220		
		再雇用職員分	(8)		5,400	2,700		
		(職員数：賦課)	(9)		9.17	4.45		
		(職員数：配賦)	(10)					
		職員数合計(9)+(10)	(11)		9.17	4.45		
	間接費	(12)		0	0			
	調整額	(加算)減価償却費	(13)		10,837	10,837		
		(加算)金利	(14)		0	0		
		(加算)退職給与引当	(15)		6,453	2,485		
		(控除)コスト対象外	(16)		0	0		
		(控除)雑収入	(17)		0	0		
	調整額計 (13)+(14)+(15)-(16)-(17)	(18)		17,290	13,322			
	トータルコスト (6)+(7)+(8)+(12)+(18)	(19)			624,244	730,231		
実 績	財源内訳	国庫支出金	(20)	52,000	15,400			
		都道府県支出金	(21)	145,285	42,170			
		地方債	(22)	0	0			
		その他	(23)	324,805	61,816			
		一般財源	(24)	166,036	296,009			
	直接費	事業費	(25)	616,900	343,284			
	職員人件費	人件費	(26)	60,306	66,911			
		再雇用職員分	(27)	10,920	5,200			
		(職員数：賦課)	(28)	7.82	9.17			
		(職員数：配賦)	(29)					
		職員数合計(28)+(29)	(30)	7.82	9.17			
	間接費	(31)	0	0				
	調整額	(加算)減価償却費	(32)	10,837	10,837			
		(加算)金利	(33)	35,036	0			
		(加算)退職給与引当	(34)	6,138	5,019			
		(控除)コスト対象外	(35)	0	0			
		(控除)雑収入	(36)	0	0			
	調整額計 (32)+(33)+(34)-(35)-(36)	(37)	52,011	15,856				
	トータルコスト (25)+(26)+(27)+(31)+(37)	(38)	740,137	431,251				

施策名	水辺
-----	----

担当課： 公園整備課

施策の達成状況

【達成度評価】

1. 水の拠点整備面積については、当初計画どおり進められたため予定、実績とも変わりはありません。
2. 水辺が親しめる空間となっていると思う区民の割合は、昨年時を4.6ポイント上回る評価を頂いた。
これは、当初計画化（平成19年度までの実施計画）した事業（西水元水辺の公園や堀切水辺公園の拡張工事完成）が順調に行われたことが評価として現れたものと推測する。
しかし、半数以上の区民が「満足していない」と回答しており、更なる水辺の充実が望まれているものと推察する。

構成事務事業の次年度方向性

【次年度方向性の考え方】

【（仮称）中川河岸緑地公園】

- * 同公園の全面開園を目指し、河川区域（約4,000㎡）の整備を行なう。

【駐車広場管理運営委託（柴又公園駐車場）】

- * 平成19年度以降は指定管理者による管理に移行する。

【維持管理（水元小合溜水質浄化施設）】

- * 良好な水質確保を図るため、平成20年度取水塔工事を完成させる。

【水辺のふれあいルーム運営】

- * プロポーザル方式による委託業者の運営により、来館者や講座への参加者が増加した。次年度以降も同方式により委託業者を選定し、更なる区民サービスの向上に努める。

【水辺のネットワーク事業基本構想策定委託（桜つつみ復活事業）】

- * 水辺に親しむ環境づくりのため、水の拠点へのアクセス整備となる水辺の散策路や桜つつみ復活のための整備を推進する。